

## 令和8年度 島根県畜産技術センター試験研究の基本的推進方針

島根県では、「第2期島根創生計画」において、「人口減少に打ち勝ち、笑顔で暮らせる島根」を将来像として掲げ、農林水産業に係る実行計画として「第2期島根県農林水産基本計画」を策定し、将来にわたり持続可能な農林水産業・農山漁村の実現に向けた取組を進めています。

畜産分野では、「肉用牛の生産拡大」を重点推進事項に位置付け、新たな評価指標の確立やニーズを先取りした種雄牛の造成を進めています。肉用牛以外については、持続可能な畜産業の実現に向け、県内産粗飼料の生産・利用拡大を進め、酪農等における中核的担い手を支援することとしています。

畜産技術センターでは、これら事項を早期に実現するため、肉用牛の改良を推進する新たな技術の開発・普及、並びに子牛市場の購買者や消費者のニーズに対応するため、商品価値の高い子牛や特徴ある畜産物の生産に向けた技術確立に集中的に取り組みます。

加えて、畜産の担い手への支援や畜産技術者養成に対し、研修施設としての役割を果たしていきます。

### 1. 新たな評価指標「小ザシ」に着目した評価手法と優秀な種雄牛造成手法の確立

「小ザシ」の評価手法の確立や評価手法として適正基準の設定を進めるとともに、「小ザシ」に係る遺伝的能力評価体系を確立する

また、遺伝的能力評価を活用した種雄牛造成の効率化、高品質な凍結精液の安定供給の構築を目指す

### 2. 自給飼料の通年体系の確立等による畜産経営の低コスト化

自給飼料を活用した経営体質の強い畜産経営体への変革のため、自給飼料を最大限活用する栽培体系・飼料給与体系を確立する

### 3. 経営形質ゲノミック評価体系の確立と種雄牛作出効率化技術の開発

肉用牛生産の拡大に向け、妊娠期間など経営形質に係るゲノミック評価、受精卵段階での種雄牛能力評価など能力評価手法を確立する

### 4. 繁殖牛として評価される「しまね和牛」雌子牛育成技術の確立

肉用牛の産肉能力向上や大型化に対応した雌子牛の飼養管理技術に着目し、繁殖素牛として評価される育成技術を確立する

### 5. 肥育牛の事故低減と遺伝的改良による生産性向上技術の開発

肥育牛管理の省力化に向け行動センサーの有用性を探るとともに、行動データをもとに疾病・暑熱ストレス耐性等に関するゲノミック評価体系を構築する

### 6. 早期炎症指標を活用した搾乳期間延長手法の確立

酪農経営の収益性向上に向け、新指標 DSCC を活用した搾乳期間延長（乾乳期間短縮）の判断基準を設定する